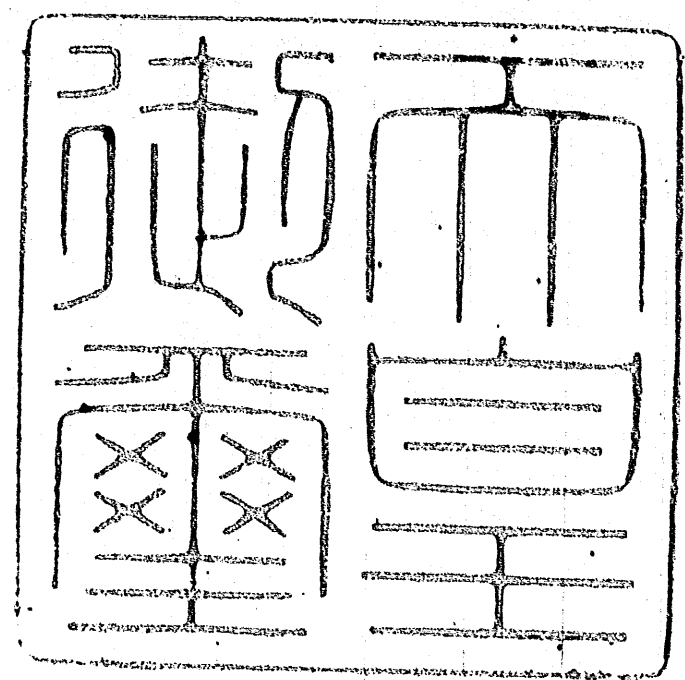


勅令第二百三十六号

朕統監府裁判所令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公  
布セシム

睦仁



明治四十二年十月十六日

内閣總理大臣侯爵 桂 太郎

勅令第二百三十六號

統監府裁判所令

第一條 統監府裁判所ハ統監ニ直屬シ

韓國ニ於ケル民事刑事ノ裁判及非訟事件ニ關スル事務ヲ掌ル

第二條 統監府裁判所ヲ分テテ區裁判

所地方裁判所控訴院及高等法院トシテ  
統監府裁判所ノ設置廢止及管轄區域  
ハ統監之ヲ定ム

統監府裁判所ニ統監府判事ヲ置ク判

事ハ勅任又ハ奏任トス

第三條 區裁判所ハ裁判所構成法ニ定

メタル區裁判所地方裁判所ハ同法ニ

定メタル地方裁判所ノ職務ヲ行フ

控訴院ハ地方裁判所ノ裁判ニ對スル

控訴及抗告高等法院ハ地方裁判所又

ハ控訴院ノ第二審ノ判決ニ對スル上

告及控訴院ノ裁判ニ對スル抗告ニ付

裁判ヲ行フ

高等法院ハ前項ノ外裁判所構成法ニ

定メタル大審院ノ特別權限ニ屬スル

職務及第一審且終審トシテ韓國皇族

ノ犯シタル罪ニシテ禁錮以上又ハ韓

國法規ニ依リ禁獄以上ノ刑ニ處スヘ

キモノノ裁判ヲ行フ

第四條 區裁判所ハ前條第一項ノ外韓

國人ノ犯シタル罪ニシテ左ノ各號ノ

一ニ該ルモノノ裁判ヲ行フ

一 韓國法規ニ依リ一年以下ノ懲役

禁獄罰金笞刑又ハ拘留ノ刑ニ該

ル罪

- 二 韓國刑法大全第五百九十二條第  
五百九十五條第五百九十六條第  
六百一條乃至第六百三條第六百  
十六條及第六百十七條ノ罪
- 三 前號ノ罪ノ贓ヲ分チ又ハ買得受  
寄シタル罪
- 四 韓國刑法大全第六百四十四條ノ  
罪

前項第一號ノ罪ニ付テハ再犯以上ト

ニテ處分スヘキ場合ト雖區裁判所其  
ノ裁判ヲ行フ

第五條 統監ハ地方裁判所ノ事務ノ一  
部ヲ取扱ハシムル為管轄區域内ノ區  
裁判所ニ地方裁判所ノ支部ヲ設置ス  
ルコトヲ得

支部ノ職員ハ支部ヲ設置シタル區裁  
判所ノ職員ヲ以テ之ニ充ツ

第六條 統監ハ地方裁判所ノ管轄區域  
内ノ一ノ區裁判所ニ屬スル裁判事務

、全部又ハ一部ヲ其ノ地方裁判所ノ  
管轄区域内ノ他ノ區裁判所ヲシテ取  
扱ハシムルコトヲ得

第七條 區裁判所ハ判事單獨ニテ裁判  
ヲ為シ地方裁判所及控訴院ハ三人ノ  
判事高等法院ハ五人ノ判事ヲ以テ組  
織シタル部ニ於テ合議シテ裁判ヲ為  
ス

高等法院ノ或部ニ於テ上告ヲ審問シ  
タル後從來ノ判決例ニ異リタル意見

ヲ有スルトキハ其ノ部ハ之ヲ高等法  
院長ニ報告シ高等法院長ハ各部ヲ聯  
合シテ更ニ之ヲ審問シ且其ノ裁判ヲ  
為サシム

前項ノ場合ニ於テハ判事ノ三分ノ二  
以上列席スルコトヲ要ス

第八條 統監ハ地方裁判所又ハ其ノ支  
部ハ判事ノ一人又ハ數人ニ其ノ裁判  
所又ハ支部ノ裁判權ニ屬スル刑事ノ  
豫審ヲ為スコトヲ命ス

高等法院長ハ第三條第三項ノ豫審ヲ為スヘキ各別ノ場合ニ付其ノ院ノ判事又ハ下級裁判所ノ判事ニ之ヲ為スコトヲ命ス

第九條 統監府裁判所ニ檢事局ヲ並置ス  
檢事局ハ統監ノ管理ニ屬シ韓國ニ於ケル檢察事務ヲ掌ル  
檢事局ノ管轄區域ハ之ヲ並置シタル裁判所ノ管轄區域ニ同シ

檢事局ニ統監府檢事ヲ置ク檢事ハ勅任又ハ奏任トス  
檢事ハ檢察事務ニ付上官ノ命令ニ從フヘシ

第十條 統監府裁判所ニ書記ヲ置ク書記ハ判任トス  
第十一條 統監府裁判所ニ通譯官又ハ通譯生ヲ置ク通譯官ハ奏任通譯生ハ判任トス

通譯官及通譯生ハ裁判所及檢事局ニ  
附属ス

第十二條 高等法院ニ高等法院長ヲ置  
ク

高等法院長ハ統監ノ指揮監督ヲ承ケ  
其ノ院ノ行政事務ヲ掌理ス

第十三條 控訴院ニ控訴院長ヲ置ク

控訴院長ハ統監ノ指揮監督ヲ承ケ其ノ  
院ノ行政事務ヲ掌理シ管轄区域内下  
級裁判所ノ行政事務ヲ指揮監督ス

第十四條 地方裁判所ニ地方裁判所長  
ヲ置ク

地方裁判所長ハ其ノ裁判所ノ行政事  
務ヲ掌理シ管轄区域内區裁判所ノ行  
政事務ヲ指揮監督ス

第十五條 區裁判所ノ判事ハ其ノ裁判  
所ノ行政事務ヲ掌理ス

判事二人以上アルトキハ上席ノ判事  
前項ノ職務ヲ行フ

第十六條 高等法院控訴院及地方裁判

所、各部ニ部長ヲ置ク  
部長、各其ノ長官ノ命ヲ承ケ部ノ事  
務ヲ掌ル

第十七條 高等法院檢事局ニ高等法院  
檢事長ヲ置ク

高等法院檢事長ハ統監ノ指揮監督ヲ  
承ケ其ノ局ノ事務ヲ掌理シ下級檢事  
局ヲ指揮監督ス

第十八條 控訴院檢事局ニ控訴院檢事  
長ヲ置ク

控訴院檢事長ハ其ノ局ノ事務ヲ掌理  
シ管轄区域内下級檢事局ヲ指揮監督  
ス

第十九條 地方裁判所檢事局ニ地方裁  
判所檢事正ヲ置ク

地方裁判所檢事正ハ其ノ局ノ事務ヲ  
掌理シ管轄区域内區裁判所檢事局ヲ  
指揮監督ス

第二十條 區裁判所檢事ハ其ノ裁判  
所檢事局ノ事務ヲ掌理ス



檢事二人以上アルトキハ上席ノ檢事  
前項ノ職務ヲ行フ

第二十一條 高等法院及控訴院ニ書記

長ヲ置ク書記長ハ奏任トス

書記長ハ院長及檢事長ノ命ヲ兼ケ庶

務ヲ掌ル

第二十二條 書記ハ上官ノ指揮ヲ兼ケ

庶務ニ従事ス

第二十三條 通譯官及通譯生ハ上官ノ

指揮ヲ兼ケ翻譯及通譯ニ従事ス

第二十四條 統監府裁判所及檢事局職

員ノ定員ハ各裁判所及檢事局ヲ通シ

テ左ノ如シ

判事 三百二十九人

檢事 八十五人

書記長 四人

通譯官 四人

書記 三百六十八人

通譯生 百八十七人

第二十五條 韓國人ニシテ判事又ハ檢

事タル者ハ民事ニ在リテハ原告被告  
トモ韓國人タル場合刑事ニ在リテハ  
被告人韓國人タル場合ニ限リ其ノ職  
務ヲ行フ

第二十六條 區裁判所檢事ノ職務ハ統  
監府警視統監府警部又ハ統監府裁判  
所書記ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ  
得

第二十七條 統監府裁判所及檢事局ノ  
事務處理ニ関スル規程ハ統監之ヲ定

ム

附則

第二十八條 本令ハ明治四十二年十一  
月一日ヨリ之ヲ施行ス

統監府法務院官制ハ之ヲ廢止ス

第二十九條 本令施行前理事廳又ハ韓  
國ノ區裁判所郡衙若ハ地方裁判所ニ  
於テ受理シタル訴訟事件及非訟事件  
ハ現在ノ儘理事廳ニ係ルモノニ在リ  
テハ管轄ニ関スル規定ニ從ヒ相當ノ

區裁判所又ハ地方裁判所ニ、韓國ノ區  
裁判所又ハ郡衙ニ係ルモノニ在リテ  
ハ其ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ  
韓國地方裁判所ニ係ルモノニ在リテ  
ハ其ノ所在地ヲ管轄スル地方裁判所  
ニ移ルモノトシ既ニ為シタル裁判ハ  
第一審及第二審ノ區別ニ從ヒ各其ノ  
區裁判所又ハ地方裁判所之ヲ為シタ  
ルモノト看做ス

第三十條 本令施行前統監府法務院又

ハ韓國ノ控訴院ニ於テ受理シタル訴  
訟事件及非訟事件ハ現在ノ儘其ノ所  
在地ヲ管轄スル控訴院ニ移ルモノト  
ス  
統監府法務院ノ既ニ為シタル裁判ハ  
高等法院韓國ノ控訴院ノ既ニ為シタ  
ル裁判ハ前項ノ控訴院之ヲ為シタル  
モノト看做ス  
本令施行前韓國ノ大審院ニ於テ受理  
シタル訴訟事件及非訟事件ハ現在ノ

儘高等法院ニ移ルモノトシ既ニ為シ  
タル裁判ハ高等法院之ヲ為シタルモ  
ト看做ス